

先日の豪雨後は、排水対策と防除が実施され、現在のところ、病気の発生は見られません。今年、平年より12日早い7月9日に梅雨明け、その後は毎日35℃を超える猛暑が続いています。さらに、当面は降雨の予想がない状況です。

1 高温乾燥が続いています！！ 灌水で活着を進めましょう。

梅雨明け後に定植したチェーンポット苗や地床苗は、高温乾燥により活着が遅れています。ポンプや動力噴霧機を使い、株元への灌水を実施しましょう。

水が豊富にあり、谷溝を設置している場合は、以下のポイントに注意して、畝間灌水を実施しましょう。(22日は局地的に強い降雨がありました。降雨のなかった地域は参考にして下さい。)

<高温乾燥時のポイント>

- ★ 灌水する時間帯は夕方気温が下がり始めてから行いましょう！
(地温が上昇に向かう朝や地温が高い日中は、水が温まり過ぎて、根を傷めてしまいます)
- ★ 朝日が当たる頃には圃場に水が溜まらない程度の灌水にしましょう！
- ★ 一度に全ての谷への灌水は根痛みを起こす場合があります。
水の量を確認し、数本の谷に順次水を流し入れましょう！

2 中耕作業で土中に酸素を補給しよう

7月17日、JA岩津ねぎ部会の役員とペーパーポットのほ場を巡回しました。

豪雨後、大半の農家では、管理機を使って、条間を中耕されていました。しかし、株元近くまで中耕できていない農家や未実施の農家も見られました。

実施していない農家は、ほ場の状態を確認し、条間に一度水を通してから、できるだけ株元近くまで中耕して下さい。



豪雨後、中耕していないほ場

3 局地的な降雨に備えよう

今後、地域によっては局地的な雷雨も予想されます。

今一度、ほ場周辺の排水溝の確認と条間に溝を設置するなど急な降雨に向け対策につとめましょう。



中耕(土入れ)作業の実施



条間に溝設置



排水溝のチェック

<問合せ先>

- 和田山営農生活センター : 672-4800
- 朝来営農生活センター : 670-4341
- 山東営農生活センター : 670-7744
- 朝来農業改良普及センター : 672-6886